

東日本大震災支援

3.11.子どもanimoプロジェクト

地震や津波で被災した学校の復興に協力し、
子どもたちが1日も早く学校生活に戻り、
友人や先生たちと勉強や遊びができるよう、
体も心も元気になれるよう、希望が持てるよう支援します。

animo(アニモ)は、
スペイン語で、
「ガンバレ」
という意味です。

この度の東日本大震災によって亡くなられた方々に対し、心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。そして、被災地の一日も早い復興を微力ながら応援いたします。

NPO法人ハート・オブ・ゴールドは、未曾有の被害を出している震災支援として、皆さまの力を集めて、学校支援事業を実施しています。

復興の最も大きな柱となるのは「教育」です。昔からいつの時代も、日本の発展を支えたのは「教育」の力でした。明日を担う子ども達と、そしてそれを支える現場の先生たちのお力になりたいと願っています。HGがやってきたカンボジアでの活動も、人材育成、教育です。同じく「3.11 子ども animo プロジェクト」も教育に視点をおいて活動してまいります。

死の恐怖をともなう体験にさらされるとだれでも「心の傷」を受けます。その傷が自然治癒する方向へもっていくことが、直後の支援として最も重要なこととなります。「こころのケア」といわれるものは、自然治癒の流れを作ることなのです。子どもたちを、自然治癒の方向の流れにのせるためには、**子どもらしく遊ぶという行為を保障することが、とてとても重要になります。**

身体をつかって運動したり、遊んだりすることで、いま瞬間的にでも、**楽しいと思うこと、それが、現在のつらい記憶を自然治癒の方向で処理していくために役立つこと**です。

NPO法人/東京学芸大子ども未来研究所の「なぜいま遊びなのか？」より抜粋

ハート・オブ・ゴールド代表理事、有森裕子は下記の予定で、ようやく学校が始まった学校を訪問して子どもたちと交流します。

記

日程：4月25日 10:30～お昼まで 東松島市立野蒜小学校、
4月26日 10:00～お昼まで 石巻市立蛇田小学校

また、岡山の小学校からの手紙や、カンボジアの子ども達からの手紙を持って訪問する予定です。

※ 取材をご希望される場合は、お手数ですが、事前に一度ご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

24日～27日までのお問い合わせ先： 特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド本部事務局
TEL/FAX:080-4073-5795 (大塚) URL: <http://www.hofg.org/> E-mail : hginfo@hofg.org